

箱根組ニュース

第324号 2019年12月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

丹沢三ノ塔に8人で登る！ 二ノ塔尾根からの富士と相模湾の絶景に歓声上がる。

11月17日(日) 小田急線新宿駅発
6時11分の急行小田原行きに乗車。雲
一つない快晴の空を突っ切りながら電
車は進む。

秦野駅に7時23分着。降り立ったの
は有倉、宗像夫人、奥村、神山、三田村、
西尾、戸丸の7名。バス停に向かうとヤ
ビツ峠行きの行列には伊東から参加の
西川さんが並んでいた。これで参加者は
8名。

ところで行列は左に曲がって最後尾
まではかなりの長い列。バス会社の係員
の案内が今一つでヤビツ峠と蓑毛の表
示で多少の混乱があった。定刻前に一台
がぎゅうぎゅうで発車。2台目に乗り切
れるかと思ったら戸丸と西尾さんの前
で一杯。3台目も満員で出発したが、結
果乗り切れなかった二人は座ることが
できてラッキーだったかも。

8時半ころ、ヤビツ峠に到着。2台目
も着いたばかりで無事8人は合流する。
台風の影響かどうかはわからないが、水
道が故障との事で仮設のトイレが4台
並んでいてその前はまた行列だ。待ちな

がら各自身支度とストレッツチ。

8時50分、少し戻るようにして南側
のルートから岳ノ台を目指す。正面から
の朝日がまぶしい。登山口の石段の横に
は岳ノ台ハイキングコースの標識があ
り、岳ノ台1.4キロ、菩提峠2.6キ
ロとある。早速急な階段を上ってゆく。
登りきると穏やかな道になり今が盛
りのスキの穂が朝日に輝いてなびい
ている。

9時11分、小さなピークに到着。頑
丈そうな東屋がある。青い空にヒコキ
雲がなびいている。右方向にどっしりと
鎮座しているのは大山だ。台風の影響か
紅葉は少し枯れているような感じだ。

9時半頃、森は植林が多くなる。道が
左に大きく曲がるとヒノキの木の間に
雪を薄くかぶった富士山がくつきり
と美しい姿を見せた。思わず声を上げる
と三田村さんが戻ってきてカメラに収
めた。右に曲がって進んでゆく。

9時38分、岳ノ台に到着。立派な展
望台に上ると周囲がよく見える。鉄製の
休憩所の上が展望台になっている。特に



大山が見事だ。

ここからは少し下りになる。下草に笹が混じったルートで低い灌木は幹がよじれたようになっていて。

10時4分、降りて平坦になったところ左側に菩提風神祠がある。小休止。再度下草の多い道を登り始める。下草が多いのは鹿よけのネットです。

大野さんより3000円頂きました。また、打ち上げ残金521円を会計に入れました。

※今回から予算があると
きには下見の交通費を
いただくことにしました。
ご了承ください。

現在の収支	繰越	43520 円
支出	下見交通費	2228 円
	印刷費	1000 円
	コピー代	400 円
	現在高	39892 円

切手残数	82円切手	128枚
	2円切手	128枚
	40円切手	131枚

上の様な尾根に出る。視界の良いエリアを右に曲がりこむように進む。富士が見え小田原方向と相模湾が見える。

発点だ。誰もいなかったので失礼して板敷きの上から景色を眺めた。絶景だ。菩提峠に向かって下りて行く。リンドウの紫が美しい。10時29分、菩提峠。パラグライダーの人たちが利用すると思われる車の駐車場がある。北側からアプローチするルートと南側から二ノ塔尾根へ行くルートで少し迷ったが、「日本武尊足跡」という標柱がありこれを入れてゆく。これが南側のルートだった。ここは初めて通る道。植林の坂道を登ってゆく。

11時16分、台風の影だ。ろうが4本のヒノキが並んで倒れて道をふさいでいたが、これを乗り越えていく。途中から時折左側の景色が広がり、秦野、小田原の街並み、相模湾、江ノ島などが見える。

集合12月15日(日)
 JR 新宿駅 (11番線) 6:46 発
 ホリデー快速あきがわ1号 (前寄り)
 (前から三両目車内)
 (注) 後ろ寄りの奥多摩行き車両に乗らないこと
 途中駅発 中野 6:50 三鷹 6:59
 国分寺 7:06 立川 7:15 西立川 7:19
 武蔵五日市 7:55 着 (バス乗り換え)
 8:22 発上養沢行き 十里木 8:33 着
 ○交通費(片道) 新宿~武蔵五日市 814 円
 武蔵五日市~十里木 280 円

12月15日(日)は城山(戸倉城址)(434.1E)と荷田子で芋煮パーティー。らくだコース 歩行2時間 ※山道です、登山靴で参加してください。

武蔵五日市駅からバスで十里木下車、城山登山(往復)後、荷田子河原で芋煮パーティーです。

※お弁当は要りません。●参加者で芋煮の材料を分担。 ※持参するものを戸丸までお知らせください。参加人数で量調整が必要(こんにやく、うどん、里芋、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麵つゆ)

※焚火の材料(ご家庭に、木材、紙類や燃やせるもののある方は持参ください)。寒くない服装で(河原で宴会のため)

○持ち物 飲料水、ポットにお湯、食器、箸、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは12月13日(金)までに

●お申し込み・お問い合わせ
 Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
 戸丸携帯 090-4541-7066
 携帯メール: satorutomaru@gmail.com
 メール: tomarusatoru@hotmail.com
 箱根組ホームページ
<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

ここを「日本武尊・」の足跡として祭つてあるようだ。

正規のルートは実は左方向だったらしいが、尾根も近いのでそのまま登ってゆく。少し上に登山道があり、まもなく二ノ塔尾根に出る。

11時44分、圧倒される絶景に息をのむ。少し雪をかぶった富士山、その手前の山々、箱根の山並みに続く伊豆半島相模湾、初島、大島、江ノ島、突然目の前に広がった。このルートにしてこの絶景なのだ。しばらく景色を楽しみ尾根を登ってゆく。

12時5分、二ノ塔通過。目の前に大きくこんもりと丸い形の三ノ塔が見える。まだちよつと距離はある。いったん下ってゆく。

12時12分、鞍部が土砂崩れで馬の背のような細いところがなお細く切れて落ち込んでいる。注意深く通過する。

12時30分、三ノ塔着。やはり絶景だ。沢山の人々が休憩して景色を楽しんでいるようだ。パラグライダーも登山客に見えるかのように山頂近くまで接近して浮いているがとても気持ちよさそう

だ。
まだ新しく立派な三ノ塔休憩所の北側のベンチで昼食。少しのビールで乾杯。奥村さんは重いのおでんを持ってき

てバーナーで温め皆にふるまう。大好評。1時30分、下山開始。少し戻って分岐を右に大倉方面に下ってゆく。ヒノキ林を下りて行く。黄色く色づいた紅葉が日に照らされている。真っ赤な紅葉もきれいだ。

伐採のための作業用の林道と思われるが、あちこちで登山道を寸断している時には登山道が見つけにくいところもある。

2時50分、大きな倒木が道をふさいでいる。各自、くぐったり乗り越えたりして通過。

2時56分、三ノ塔から2.2キロ、大倉まで3.5キロ地点通過。

3時7分、牛首着。林道のゲートがある。ここで林道を行ってもいいらしいが、もう一度右側の山道に入って尾根道を歩く。

4時5分、山道が終わり林道歩き。「風の吊り橋」が見えて右に下りて行く。このあたりの紅葉が赤、黄色、緑のグラデーションが美しい。スキもそれに加わり美しさを増している。

4時10分、風の吊り橋。これを渡って大倉バス停着。バスが止まっていたが発車してしまった。トイレ休憩しているとすぐに次のバスが来た。

渋沢駅北口着。駅前でお店を探して7

人で打ち上げ。秦野のお豆腐や美味しい魚で大満足。



